

現状知り福島応援を

埼玉県の非営利型一般社団法人チームともだち（登内芳也代表理事）などが主催する福島応援トークイベントは23日、北上市大通りのきたかみ復興ステーションで開かれる。福島県在住で震災後、福島の独身女性の声の発信などに取り組んでいる日塔マキさん（29）が現状を語る。入場無料。

埼玉の非営利型社団法人

同法人によると、日塔さんは1983年福島県郡山市生まれ。イベント制作会社を経て、ラジオパーソナリティとして活躍。元「ミス郡山」の経歴も持つ。震災後、一時千葉県に避難。その後、福島の女の子の本音を言える場作りをしていく団体「peach heart」の設立に参加した。

また、2012年12月には「女子の暮らしの研究所」を設立。福島第1原発事故を受けてこれまで当たり前だった空気や水、食べ物をはじめ暮らしを取り巻く環境全てをもう一度見直し、一人一人が自分の暮らしを行動できる社会をつくるため

23日、トークイベント 独身女性の声発信

北上

取り組みんでいる。トークイベントの本県での開催は初めて。問い合わせは、同法人事務局103（5778）4871へ。

「言葉にできない声を聞く力を失わないで」と呼び掛ける澤口さん

「言葉にできない声を聞く力を失わないで」と呼び掛ける澤口さん

日、北上市本石町の同館で始まった。初日は舞踏家笠井さんと詩人吉増剛造さんの対談のほか、吉増さんの詩作や映像作品、笠井さんによる舞踏を披露。表現の最前線で活躍する2人の心に迫る



震災後の詩作や発表内容などに関して語った第1部の対談（右から笠井さん、吉増さん、林さん）

趣向凝らした陶芸作品98点

北上・北陶会が展示会

北上市の陶芸サークル「北陶会」（佐藤義雄会長）の第3回冬の展示会は、同市芳町の北上地区合同庁舎内県民ホールで開かれている。会員24人が趣向を凝らした陶芸作品を展示し、利用者の目を引き付けている。27日まで。

同会は同市に居住、通勤する会員60人で構成する陶芸サークル。2012年に結成40周年を迎

北陶会が陶芸作品98点を展示している冬の展示会



ど色、形もさまざま。品が展示されている。

迫力ある身体表現で、増さんの詩による井

関して発言。吉増さんは、甚大な被害を受け陸前高田市で気仙川近